	丁上 耒尚 🗧	等專門学校	開講年度   令和02年度 (2	2020年度) 1 技	業科目 18	方災工学概説
科目基础	礎情報					
科目番号 R02E532		R02E532	2	科目区分	専門 / 選択	
授業形態 授業		授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科電気電子		電気電子:	工学科	対象学年	5	
開設期前期		前期		週時間数	2	
教科書/教材 (教科書) のはなし-			太田敏一・松野 泉,「防災リテラシー」,森北出版。都市直下地震に備える-」,朝倉書店		/(参考図書)岡田恒男・土岐憲三編著, 「地震防災	
担当教員		山口 貴之	2,一宮 一夫			
到達目標	標					
(1)防災全 解できる	è般について . (定期試	T理解し, どの 験)	)ような防災対策をとるべきか, また,	災害時にとるべき避難行	う動や災害が	私達の社会に及ぼす影響について理
ルーブ!	リック					
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの	目安	未到達レベルの目安
評価項目1			防災全般について理解し、どのような防災対策をとるべきか、また、災害時にとるべき避難行動や災害が私達の社会に及ぼす影響についてとてもよく理解できる.	防災全般について理解 うな防災対策をとるべ , 災害時にとるべき避害が私達の社会に及ぼ いて理解できる.	きか,また 難行動や災	防災全般について理解し、どのような防災対策をとるべきか、また、災害時にとるべき避難行動や災害が私達の社会に及ぼす影響について理解できていない.
評価項目2			自らの専門分野と防災との関連性 をよく説明できる.	自らの専門分野と防災 を説明できる.	との関連性	自らの専門分野と防災との関連性 を理解できない.
学科の発	到達目標」	項目との関	 係			
	育目標 (B2					
教育方法	法等					
概要 る。 (科目情報 授業時間 RM科目			31時間			
受業の進 	め方・方法	(再試験)	= (2回の定期試験の平均点) ×1.0 について) が,40点以上,60点未満の学生に			
注意点		(自学上の	3は教科書に記載された内容の解説, 1	,		する.
評価						
授業計画	西					
メオロル	四					
ᄉᄍᄞᆝ	<u> </u>	週		週ごと	この到達目標	
			授業内容 防災に関する基礎知識	これま	での主な自然	<b>然災害および我が国の立地条件が</b> 理
<u>∠</u> ₩011		1週		これま 解でき 阪神沙	での主な自然	然災害および我が国の立地条件が理 東日本大震災の被害の実態とそれへ 解できる.
		1週	防災に関する基礎知識	これま 解でき 阪神沙 の対応	での主な自然 る。 ※路大震災と見	東日本大震災の被害の実態とそれへ なできる.
<u> </u>		1週 2週 3週	防災に関する基礎知識 災害に立ち向かうために	これま 解でき 阪神沙 の対応 災害と	での主な自然での主な自然である。 ※路大震災と呼ぶについて理解 には何かを理解	東日本大震災の被害の実態とそれへ 解できる. 解できる.
	1stQ	1週 2週 3週 4週	防災に関する基礎知識 災害に立ち向かうために 災害とは	これでは 解でする の対抗 災害と 地震の る・ 津波の	での主な自然 を と と と と と に ついて理 に は何かを理 の と が と で と で い て で と が に り と で り と で り と で り で り と り と り に り と り と り と り と り と り と り と	東日本大震災の被害の実態とそれへ なできる.
		1週 2週 3週 4週 5週	防災に関する基礎知識 災害に立ち向かうために 災害とは 地震	これ。 解で の対が 災害と 地震の る。 津波の る。 台風や	での主な自然 の の の の の について理解 には何かを理解 の メカニズム, の の の の の の の の の の の の の	東日本大震災の被害の実態とそれへ 幹できる. 解できる. 被害の実態,対応方法が理解でき
		1週       2週       3週       4週       5週       6週	防災に関する基礎知識 災害に立ち向かうために 災害とは 地震 津波 台風と豪雨	これする 所で神が成 災害と 地震の る。 津波の 台解でき	での主な自然での主な自然での主な自然である。 とのではではでいて理解では何かを理解のメカニズム、 のメカニズム、 の、シカニズム、 の、シカニズム、 の、シカニズム、 の、シカニズム、 の、シカニズム、 の、シカニズム、 の、このでは、このでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	原日本大震災の被害の実態とそれへ なできる。 解できる。 被害の実態,対応方法が理解でき 被害の実態,対応方法が理解でき 被害の実態,対応方法が理解でき
		1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	防災に関する基礎知識 災害に立ち向かうために 災害とは 地震 津波 台風と豪雨 復習	これする 所で神が成 災害と 地震の る。 津波の 台解でき	での主な自然 の の の の の について理解 には何かを理解 の メカニズム, の の の の の の の の の の の の の	原日本大震災の被害の実態とそれへ なできる。 解できる。 被害の実態,対応方法が理解でき 被害の実態,対応方法が理解でき 被害の実態,対応方法が理解でき
		1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	防災に関する基礎知識 災害に立ち向かうために 災害とは 地震 津波 台風と豪雨 復習 前期中間試験 前期中間試験の解答と解説	これする 解で神彩成 災害と 地震の る。 津波の る。 台風でき 1~6	での主な自然を る。	原日本大震災の被害の実態とそれへ なできる。 解できる。 被害の実態,対応方法が理解でき 被害の実態,対応方法が理解でき 被害の実態,対応方法が理解でき
		1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	防災に関する基礎知識 災害に立ち向かうために 災害とは 地震 津波 台風と豪雨 復習 前期中間試験 前期中間試験の解答と解説 土砂災害	これで 解で神が成 災害 と 地る。 津波の る。 神な。 台風で 1~6 わり災る。 災害	での主な自然での主な自然での主な自然である。 の	原日本大震災の被害の実態とそれへ 経できる。 経できる。 被害の実態,対応方法が理解でき 被害の実態,対応方法が理解でき できる。 できる。 を理解する。 被害の実態,対応方法が理解でき を理解する。 できる。
		1週       2週       3週       4週       5週       6週       7週       8週       9週       10週	防災に関する基礎知識 災害に立ち向かうために 災害とは 地震 津波 台風と豪雨 復習 前期中間試験 前期中間試験の解答と解説 土砂災害	これで 解で神 が 災害 と 地る。 津波の る。 神 さ。 台解で 1~6 わ かり、 のの、 のの、 のの、 のの、 のの、 のの、 のの、 の	での主な自然での主な自然での主な自然での主な自然である。 の	原日本大震災の被害の実態とそれへ 経できる。 経できる。 被害の実態,対応方法が理解でき 被害の実態,対応方法が理解でき できる。 できる。 を理解する。 被害の実態,対応方法が理解できる。 を理解する。 被害の実態,対応方法が理解でき
		1週       2週       3週       4週       5週       6週       7週       8週       9週       10週       11週	防災に関する基礎知識 災害に立ち向かうために 災害とは 地震 津波 台風と豪雨 復習 前期中間試験 前期中間試験の解答と解説 土砂災害	こ解で 神が成	での主な自然での主な自然での主な自然である。 の	原日本大震災の被害の実態とそれへ なきる。 なきる。 被害の実態,対応方法が理解できる。 被害の実態,対応方法が理解できる。 できる。
	1stQ	1週       2週       3週       4週       5週       6週       7週       8週       9週       10週       11週	防災に関する基礎知識 災害に立ち向かうために 災害とは 地震 津波 台風と豪雨 復習 前期中間試験 前期中間試験の解答と解説 土砂災害	に解する で神が成 災 地る 津る 神が成 災 地る 津る 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	での主な自然である。 のをを表して、 のは何かを理解では何かを理解できる。 には何かを理解ではある。 のメカニズム、 の家る。 のの授業を紹ったが、 には一のかっこのでは、 のので	原日本大震災の被害の実態とそれへ 解できる。 解できる。 被害の実態,対応方法が理解できる。 被害の実態,対応方法が理解できる。 できる。
	1stQ	1週       2週       3週       4週       5週       6週       7週       8週       9週       10週       11週       12週       13週	防災に関する基礎知識 災害に立ち向かうために 災害とは 地震 津波 台風と豪雨 復習 前期中間試験 前期中間試験の解答と解説 土砂災害 災害情報 火災 ライフライン 復興計画および復興まちづくり 南海トラフ巨大地震への備え	<ul> <li>ご解で神が流</li> <li>災地る。</li> <li>津る 台解 1 ~ 6</li> <li>わ火災、 害利 災の 火る、 震え(興 南)</li> <li>東 6</li> </ul>	での主な自然である。 のをを表して、 のは何かを理解では何かを理解できる。 には何かを理解ではある。 のメカニズム、 の家る。 のの授業を紹ったが、 には一のかっこのでは、 のので	原日本大震災の被害の実態とそれへ 解できる。 解できる。 被害の実態,対応方法が理解できる。 被害の実態,対応方法が理解できる。 できる。
前期	1stQ	1週       2週       3週       4週       5週       6週       7週       8週       9週       10週       11週       12週       13週       14週	防災に関する基礎知識 災害に立ち向かうために 災害とは 地震 津波 台風と豪雨 復習 前期中間試験 前期中間試験の解答と解説 土砂災害 火災 ライフライン 復興計画および復興まちづくり 南海トラフ巨大地震への備え 前期期末試験	<ul> <li>ご解で神が記されて神が記されて神が記されて神が記されて神が記されて神が記されて神が記されて神が説の、 実際の は</li></ul>	を	原日本大震災の被害の実態とそれへ 好できる。 好できる。 被害の実態,対応方法が理解できる。 被害の実態,対応方法が理解できる。 できる。 一次は害の実態,対応方法が理解できる。 一次は害の実態,対応方法が理解できる。 一般害の実態,対応方法が理解できる。 一般害の実態,対応方法が理解できる。 一般害の実態,対応方法が理解できる。 一般害の実態,対応方法が理解できる。 一般害の実態,対応方法が理解できる。 一般害の実態,対応方法が理解できる。 一次の被害やその後の災害への値 をある。 一般による。 一般にな。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。
	1stQ	1週       2週       3週       4週       5週       6週       7週       8週       9週       10週       11週       12週       13週       14週       15週	防災に関する基礎知識 災害に立ち向かうために 災害とは 地震 津波 台風と豪雨 復習 前期中間試験 前期中間試験の解答と解説 土砂災害 災害情報 火災 ライフライン 復興計画および復興まちづくり 南海トラフ巨大地震への備え	<ul> <li>ご解で神が記されて神が記されて神が記されて神が記されて神が記されて神が記されて神が記されて神が説の、 実際の は</li></ul>	を	原日本大震災の被害の実態とそれへ 経できる。 経できる。 被害の実態、対応方法が理解でき 被害の実態、対応方法が理解でき にズム、被害の実態、対応方法が理解でき にできる。 を理解する。 被害の実態、対応方法が理解でき を連解する。 被害の実態、対応方法が理解でき を連解する。 被害の実態、対応方法が理解できる。 を連絡できる。
前期	1stQ 2ndQ	1週         2週         3週         4週         5週         6週         7週         8週         9週         10週         11週         12週         13週         14週         15週         16週	防災に関する基礎知識 災害に立ち向かうために 災害とは 地震 津波 台風と豪雨 復習 前期中間試験 前期中間試験の解答と解説 土砂災害 火災 ライフライン 復興計画および復興まちづくり 南海トラフ巨大地震への備え 前期期末試験	<ul> <li>ご解で神が記されて神が記されて神が記されて神が記されて神が記されて神が記されて神が記されて神が説の、 実際の は</li></ul>	を	原日本大震災の被害の実態とそれへ 好できる。 好できる。 被害の実態,対応方法が理解でき 被害の実態,対応方法が理解でき できる。 できる。 一次は害の実態,対応方法が理解できる。 一次は害の実態,対応方法が理解できる。 一般害の実態,対応方法が理解できる。 一般害の実態,対応方法が理解できる。 一般害の実態,対応方法が理解できる。 一般害の実態,対応方法が理解できる。 一般害の実態,対応方法が理解できる。 一般害の実態,対応方法が理解できる。 一般害の実態,対応方法が理解できる。 一般害の大の後の災害への値 できる。

評価割合						
	試験	課題・発表	合計			
総合評価割合	100	0	100			
基礎的能力	20	0	20			
専門的能力	40	0	40			
分野横断的能力	40	0	40			